「高特連携」について

1 高特連携

- ・高等学校と特別支援学校との連携を推進する県教育委員会の事業
- (1) 今後の岐阜県教育を担う優秀な人材を確保する、特に採用状況が厳しい特別支援 学校の教員を目指す生徒の増加を図る。
- (2) 担当者 東濃特別支援学校 教諭 伊藤芳博(令和3年度~令和6年度)

2 職務内容

・高校生に特別支援教育の魅力を伝え、関心を高める

(対象校) 多治見地区…多治見、多治見北、土岐紅陵、東濃フロンティア、瑞浪、 多治見西、中京、麗澤瑞浪

可児·加茂地区…可児、加茂、帝京可児 恵那地区…恵那、中津

3 具体的取組

・教員志望等の高校生に特別支援学校を見学してもらい、特支教員の魅力を具体的に実感 してもらう。その事前事後に説明会を開き、特別支援教育についての理解を深める。

令和5年度 東濃特支見学(多治見高校2回4人、瑞浪高校4人、中津高校5人 土岐紅陵高校3人、多治見西高校1人)

恵那特支見学(中津高校4人)

可茂特支見学(加茂高校6人)

令和6年度 東濃特支見学(多治見高校4人、多治見北高校1人、麗澤瑞浪高校3人 中津高校2回6人、帝京可児高校1人)

恵那特支見学(中津高校2人)

可茂特支見学(加茂高校2回11人)

(高校生の感想より)

- ・私の中で一番印象が変わったのは、病弱です。病弱の子は、学校に来られず何もできないというイメージがあったのですが、そんなことは全然なくて、みんな元気で病弱だから何もできないということではない、ということが学べました。
- ・今回の見学を通して、考え方がすごく変わりました。もっと多くの人に特別支援の ことを知ってほしいなと思いました。
- ・今回の見学でこれらのイメージに加えて、先生たちも一緒に楽しんでいるということと、授業は一見遊びに見えるけど、先生たちが考えて楽しく学習できる工夫がされているということが知れて、さらに興味が持てました。
- ・見学に行く前は、特別支援学校ではあまり他人と協力するような授業はしないというイメージを持っていました。ですが、今回の見学で普通に合唱をしている姿や仲良く作業をしている姿を見て、私たちとあまり変わらないことが分かり、授業に対するイメージが大きく変わりました。
- ・私は教員志望ですが、特別支援の先生は考えたことがありませんでした。しかし、 今回の見学で、特別支援にとても興味がわきました。